

第1巻 文化・社会と化粧品科学 目次

『化粧品科学へのいざない』シリーズ発刊にあたって 坂本一民
第1巻のまえがき 坂本一民

第1章 化粧品科学と社会

能崎章輔

1 化粧品科学と社会	14
2 人間と社会の成立と化粧	19
3 社会と化粧文化の成立	26
4 化粧文化と化粧哲学の成立	27
5 日本の科学技術の進歩と化粧品産業の歴史	33
6 科学技術と社会の要請	37
7 科学技術とマーケティング	43

第2章

化粧心理学

阿部恒之

化粧前史	52
------	----

54

第3章

化粧品の皮膚科学的応用の利点

菊地克子、田上八朗

1 はじめに	113	83
2 スキンケア製品	111	78
3 抗シワ剤、抗老化剤	109	68
4 抗ニキビ用化粧品	109	62
5 育毛剤	107	
6 制汗剤ならびに消臭剤	106	
7 メイクアップ製品・カムフラージュ製品	100	
8 おわりに	99	

第4章

スキンケアサイエンスの進化と今後の発展

細井純一、小山純一、尾澤達也

第6章 化粧品規制

高橋守、坂本一民

182

1 はじめに

177

2 「安全」とは何か?
3 化粧品の安全性はどのように考えるのか?
4 化粧品の安全性はどこまで保証すべきか
5 安全性評価のプロセス
6 安全性試験の実施
7 上市後の再評価
8 おわりに

175

171

166

165

162

160

160

第5章 化粧品の安全性とその評価

原田房枝、増田光輝

1 化粧品科学が取り扱う内容
2 化粧品科学の発展を助ける技術
3 皮膚の機能
4 まとめ

151

132

127

120

2 各国の化粧品規制	2
3 表示	3
4 化粧品成分規制	4
5 おわりに	5

第7章 化粧品の開発と知的財産権

北野健

はじめに	
1 特許法	210
2 意匠法	213
3 商標法	213
4 著作権法	213
5 不正競争防止法	235
6 共同研究開発契約	232
おわりに	241

248 245 243 241 235 232 213 210 206 191 186 183

閑話雑想 「感性と物性」 坂本一民
第1巻のあとがき 山下裕司